

平成 27 年度病虫害発生予察特殊報第 2 号

平成 27 年 10 月 15 日
静岡県病虫害防除所長

1 病虫害名 タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)

2 発生物種 トマト、なす

3 発生経過および状況

- (1) 平成 27 年 7 月に県西部地域の施設トマトほ場において、ノミハムシ類による葉の食害が発生したと病虫害防除所に連絡があった。現地で成虫を採取し（図 1）、名古屋植物防疫所に同定依頼したところ、タバコノミハムシと同定された。
- (2) 平成 27 年 8 月に県西部地域の露地なすほ場、同年 9 月に県東部地域の露地なすほ場においてノミハムシ類成虫の発生を確認した。これらについても現地で成虫を採取し（図 2）、名古屋植物防疫所に同定依頼したところ、タバコノミハムシと同定された。

4 国内での発生状況

現在までに、群馬県、埼玉県、神奈川県、東京都、千葉県、茨城県、栃木県において発生が確認されている。

5 被害

本種は葉の片側の表皮を残して葉肉を食害したり、葉を貫通して食害するため、直径 1～2mm 程度の多数の小さな白い点状の食害痕や丸い穴が観察される。収量への影響は不明である（図 3、4）。

6 特徴

(1) 形態

体長は 1.5～2.5mm。長楕円形でやや扁平である。色彩はやや光沢のある赤褐色で、上翅には不明瞭な黒斑をもつ。時にこの黒斑は拡大し、背面はほぼ黒色となる。後腿節は顕著に肥大している。

(2) 生態

卵は地表に産みつけられ、孵化した幼虫は地中で根を加害した後、地表部近くで蛹化する。気温 27℃、湿度 80% および明期 14 時間・暗期 10 時間の条件下では、卵から成虫までに 24 日間を要する。成虫は落葉等の下で越冬する。関東地方では、5 月から 11 月まで成虫の発生が確認されているが、国内での詳細な生活史はまだ明らかではない。

(3) 寄主植物

国内ではばれいしょ、なす、ほおずき、ワルナスビ、トマトで発生が確認されている。

7 防除対策

- (1) 平成 27 年 10 月現在、トマトおよびなすにおいては本種に対する登録農薬はない。

(2) 本種と疑わしい個体を見つけた場合は、病害虫防除所に連絡する。

8 その他

本種は家庭菜園や減農薬栽培ほ場を中心に発生が確認されており、通常の病害虫対策を行っているほ場ではほとんど確認されていない。



図1 トマト葉上の成虫



図2 なす葉上の成虫



図3 トマト葉の被害



図4 なす葉の被害

問い合わせ先： 静岡県病害虫防除所 TEL. 0538-36-1543